

早くから海外人財の受け入れにおける取り組みをされている清水会グループ様。現在、8 ケ国・50 人を超える外国人職員が活躍しています。また、留学生が活用できる「奨学生制度」を設けられており、金銭的なことに悩まされずに自分の目指す道に進み、在留資格に直結した国家資格をとることができます。

フィッシングクラブ、ヨガクラブ等々、法人内でのクラブ活動が 10 種類あり、中でも外国人職員が多く参加する「日本文化の学び」では施設間の交流を図ることができコミュニケーションの向上につながっているそうです。現状では、外国人に人気のサッカークラブが無いため、最適な地域のチームを探しているとのこと。職員の方が働きやすい環境が清水会グループ様にはあるようです。



例えば、休日がとりやすかったり、女性にとっても働きやすい環境だったり、ワンルームの借り上げタイプの寮を確保され負担が少なく新生活

が送れるようにしています。また地域とのかわりも積極的に行われ、「秋祭り」「認知症カフェ」などを開催されています。医療・介護の相互連携に努め、地域全体の健康と長寿を支えられています。

来年にも外国人プリセプターが誕生！？

プリセプターというのは新入職員の教育担当のことで、3 年以上の経験のある人が任命されます。清水会グループ様では今後、外国人の先輩が外国人だけでなく日本人に対しても新人教育を担当する可能性があるそうで、来年の新人研修までに適性を判断していく、ということでした。外国人スタッフの方も身が引き締まる思いでしょうね。

こうした外国人の活用も最初からうまくいっていたわけではなく、現在も試行錯誤しながら環境を整えている最中だそうです。

医療・介護の現場では利用者様とのコミュニケーションを図るためには、日本語能力がとても大事になってきます。一方で、国柄にもよりますが、お年寄りを大切にする文化がある国では、言葉が多少通じなくても思いやる気持ちがあることでコミュニケーションはうまくいくようです。

今後はそれぞれの能力を見極めながらも、**< 外国人職員のキャリアモデルづくり >** に、法人として取り組んでいく、と意気込みを語っておられました。

清水会グループ様の強みは

01：医療と介護の連携

02：存在感を高める育成

03：安心して働ける環境づくり

医療と介護。

そして、その未来へ。

理事長と外国人職員をフォローする人事・教育の皆さん

